

伊賀市 事務事業評価シート

一般事務

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	1246	介護保険制度趣旨普及事務	09	09	介護保険特別会計
基本施策	6	高齢者の健やかな生活を支える	01	01	総務費
担当部課名		介護保険課	01	01	趣旨普及費
作成者氏名	中出 富一	連絡先	101	101	趣旨普及経費
			細目	01	趣旨普及経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
市民を対象に介護保険制度の理解を深めてもらい、介護サービス利用にあたり、適正な利用が行われるように啓発する。		介護保険制度に対する情報を提供し、介護保険制度への理解を深めることにより、保険料の円滑な収納及び利用者の適正なサービス利用を促進する。
本年度事業内容	介護保険課窓口や、直接的な説明機会による周知。パンフレットを作成する。また、市広報を通じて市民啓発をする。	
根拠法令・要綱等	介護保険法・介護保険条例・介護保険規則	

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	1,500	698	700
需用費	1,200	600	600
その他	300	98	100
合計(A+B)	2,220	1,418	1,420
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	2,220	1,418	1,420
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
パンフレットの印刷部数	部	5000	10000	10000			

情勢の変化及び事業の改善点等

介護保険制度をPRすることは、適正な制度運営のために欠くことのできないものであり、今後も充実していくことが必要である。又、具体的な情報提供の実施にあたっては、対象者が高齢者中心であることに配慮した内容として、実施しており、制度の定着が図られている。また、病院、施設のパンフレットをおいてもらい、普及に努めて、今以上に配慮したパンフレット検討すべきである。

評価	達成度	3	介護保険制度の内容をPRすることは、適正な制度運営のためにも必要である。出前講座等で趣旨普及を図っている。業者作成パンフレットやインターネットの活用により、経費の節減や、所要時間の縮減の可能性はあると考える。
	効率性	3	